

月500円からのマンスリーサポーター募集

全国から集めた 市民オンブズマンの資料を 活かすために



代表者メッセージ

1994年秋に発足した全国市民オンブズマン連絡会議は、情報公開請求によって入手した行政文書を読み解き、自治体の問題を明らかにしてきました。全国のオンブズが入手した資料には、官官接待に用いた飲食店の領収証や談合の裏づけとなった談合企業の供述調書、最近では警視庁が開示した1966年のビートルズ来日の際の警備映像など、貴重な歴史的文書もあります。

そして、オンブズが活動の過程で入手したこのような資料の散逸を防ぎ、行政監視に関心をもつ市民やジャーナリストに広く役立てていただくことが我が国の民主主義の維持発展に資する、との考えから、全国市民オンブズマン連絡会議によって2001年に情報公開市民センターが設立されました。以来、会費と会員や支援者個人の方々の寄附に支えられてまいりましたが、会員の高齢化等によって会費や寄附収入が減少し、2026年以降は事務作業を担当している事務職員の雇用を維持できない状況となっております。



全国市民オンブズマン連絡会議の活動は、会員らがボランティアで活動することによって今後も継続する所存ですが、情報公開市民センターで管理保管している膨大な資料やデータをアーカイヴとして後世に役立てるためには、サーバーの維持管理費用と文書管理を行う事務職員1名の雇用を確保し続けることが必要です。

以上の趣旨をお汲み取りいただき、活動の継続のためにぜひ皆様方のお力をお貸しいただきたく、お願い申し上げます。

2026年9月10日

NPO法人 情報公開市民センター 理事長
全国市民オンブズマン連絡会議 事務局長

新海 聡

市民オンブズマンは、こう動きます

STEP
1



開示させる

情報公開請求を行い、
行政が保有する資料を
入手します。

STEP
2



調べ、追及する

資料を分析し、
住民監査請求や
住民訴訟を行います。

STEP
3



税金と制度を動かす

違法・不当な支出の返還と、
再発防止を求めます。

月500円から、行政を見張る力に。
2026年9月末までに200人を目指しています。



最短1分で登録



いつでも金額変更・停止可能



スマートフォンで
今すぐお申し込みください



全国市民オンブズマン連絡会議 NPO法人 情報公開市民センター

寄付のお申し込みはこちら

あなたの継続支援が、 行政監視の基盤になります。

あなたの支援で守れるもの



全国の資料とデータ

開示資料、調査結果、裁判関係資料を整理・保存し、散逸を防ぎます。



情報公開請求と全国調査

各地の市民オンブズマンが連携し、税金の使われ方を継続的に調査します。



活動を支える事務局

資料管理、問い合わせ対応、全国調査の集約を担う事務職員の雇用を確保します。

活動を支えるために必要な費用



人件費（フルタイム職員とパートタイム調査補助員の雇用）月**35万円**



資料保存・整理 年間**60万円**

現在の支援額ではなく、活動に必要な費用です。

市民の追及が、税金と制度を動かしてきました。

官官接待・カラ出張

25都道府県

約436億円の不正を認定

政務活動費

少なくとも

9億8,000万円

住民監査請求で返還

談合・裏金問題

少なくとも

650億円

自治体へ返還

出典：全国市民オンブズマン連絡会議まとめ

マンスリーサポーター登録は簡単です

1

QRコードを読み取る

スマートフォンで寄付募集ページを開きます。

2

金額とカード情報を入力

月500円から、無理なく継続できる金額を選択します。

3

登録完了

毎月の支援が、資料保存と行政監視活動を支えます。

寄付のお申し込みはこちら



<https://congrant.com/project/ombuds/19681>



ご確認ください

- 寄付金控除は受けられません。
- 金額の変更・停止はいつでも可能です。
- 郵便局経由の毎月定額支援をご希望の場合は、お問い合わせください。
- 活動状況は寄付募集ページで定期的に報告します。